都市・地域政策論
－持続可能な都市・地域のための政策とは－

担当者氏名：石川良文
研究室番号：Q5002

１．プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

本プロジェクト研究では、環境を保全しつつ豊かな社会経済を構築するために、都市・地域でどのような政策が必要かというテーマで活動します。真に豊かな社会を構築するためには、環境を無視した社会経済システムでも、環境だけを考えた社会でも良くありません。この相反すると思われがちな環境保全と豊かな社会経済の両面から、あるべき政策を考えていくのは大変困難ですが、総合政策学部のゼミとしては大変重要なテーマであると考えています。

現在、日本の人口は減少局面に入っています。その中でも東京などの大都市は人口が増加し続け、一方地方は人口が減少しています。大都市化と地方の過疎化は何を引き起こすでしょうか？例えば、大都市では過密化による住環境の悪化や自然の減少、渋滞する交通問題が引き起こされます。地方では高齢化とともに中心市街地の荒廃、産業の衰退が懸念されます。これからの地域社会をどのように形成していく必要があるのか、欧米の政策などを参考に「持続可能なまちづくり」の観点から学びます。

プロジェクト研究で取り上げるテーマとしては、都市化に伴う環境問題から地域経済の問題まで幅広く取り上げますが、必要な視点は、都市・地域の実情を捉え、その政策を評価しながら考えていくということです。プロジェクト研究で扱うテーマは例えば次のようなものがあります。

・持続可能な都市とまちづくり（コンパクトシティ・スマートシティ政策）
・都市・地域における先進モビリティ（交通）政策
・都市・地域の産業経済構造の分析と地域経済振興
・働き方・ライフスタイルの変化と地域の発展可能性
・ニュータウン（郊外団地）の再生・リノベーション
・地域のエネルギー問題（再生可能エネルギーの普及政策と評価）
・地方都市における中心市街地の活性化（大規模店舗の郊外化と商店街の衰退問題）
・住環境の改善（都市景観の改善、老朽化するインフラ問題、治安問題、空き家問題）
・感染症や災害に強いまちづくり（新型コロナウイルス感染症、地震、洪水と住民意識）
・地方の観光振興政策、伝統的建造物の保存政策　　など

２．プロジェクト研究の進め方

＜３年次Ｑ１＞統計データを用いて都市・地域の社会・経済・環境の実態を分析します。
＜３年次Ｑ２＞総合演習Ｂ（担当石川）で、都市・地域の現地調査や資料分析を行います。
＜３年次Ｑ３＞卒業研究のテーマを設定し、進捗報告会を随時行います。
＜３年次Ｑ４＞卒業研究の研究計画書を作成します。
＜４年次Ｑ１～Ｑ２＞研究計画に基づき、卒業研究を行います。
＜４年次Ｑ３～Ｑ４＞卒業研究の進捗報告を行いながら、研究を仕上げます。

※特定の地域（愛知県瀬戸市、岐阜県下呂市など）をフィールドとした課外プロジェクトを同時並行で実施します。2024年度は大学コンソーシアムせと補助事業に採択され、「中心市街地の魅力分析」「ニュータウン（瀬戸市菱野団地再生プロジェクト」をテーマに課外プロジェクトを行っています。

３．プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

このプロジェクト研究を希望する学生は、ゼミで学習する内容の一貫性と継続性のため、３年次のＱ２に開講される総合演習Ｂ（担当：石川良文）を履修することが必要です。何らかの事情で履修できない人は、必ずゼミ選考前に個別に相談してください。また、このプロジェクトを希望する場合には、環境・公共・国際のいずれのコースを履修しても構いません。※総合演習Ｂ（担当：石川）では、特定地域（瀬戸市など）の現地調査を行う予定です。６月～７月の土日（１日または１泊２日）を予定しており、ゼミ配属後日程調整します。

４．プロジェクト研究開始までの準備

ゼミ決定後指定する書籍等を読んで事前学習をする。

５．その他

（１）私のゼミの目標は、学生が主体的に活動し、学生自身が２年間で「このゼミに入ってよかった。楽しかった。成長した。」と思ってくれること。そして、実際に社会に通用する若者を輩出することです。そのためには、時に厳しいことも言います。楽しく一緒に活動することもあります。
（２）大学院進学を考えている人も歓迎します。
（３）「ゼミを楽しくするためにいろいろ企画します」という学生も歓迎。ゼミを大学生活の集大成として考えている学生、懇親会やイベントを企画してくれる学生を歓迎します。
（４）ゼミの課外活動としてこれまで多くの活動をしてきました。今年度は大学コンソーシアムせとの補助事業を受け、瀬戸市中心市街地の魅力分析プロジェクトを実施しています。これまで、地方創生に関する問題に関して瀬戸市長に提言書を提出したり、ＥＳＤ大学生リレーシンポジウムで最優秀賞と優秀賞を受賞しました。
（５）就職先は石川研究室のＨＰを参考にして下さい。幅広い分野で先輩が活躍しています。
（６）実際の都市・地域政策を学びながら、自分たちで地域の課題を分析したり、政策立案したりする実践的なゼミです。社会で実際に活動することが多いので、ゼミ時間以外の課外活動に積極的な学生の志望を期待します。

６．選考方法

①志望理由書、②志望に関する調査票及びレポート、③面接、④その他志望度に関するやり取りで総合的に選考します。志望する人には、調査票及びレポート課題を渡しますので、志望理由書提出直後に必ず石川(yishi@ps.nanzan-u.ac.jp)までメールで連絡すること。面接の日程は予備登録票（志望理由書）提出者にメールで連絡します。

＜参考＞　石川研究室ＨＰ https://ishikawa-lab.jimdo.com/
ゼミ学生活動（例）https://www.standsetup16.com/